

概 要

- 1) 一般的な皮膚疾患に対する外来診療の経験を積む。
 1. 湿疹・じんましん・皮膚炎群、表在性真菌症など日常診療でよく遭遇する皮膚疾患の診療を習得する。
 2. アトピー性皮膚炎や尋常性乾癬等の慢性に経過する疾患の診療を習得する。
 3. 帯状疱疹、単純疱疹、疣贅等のウイルス性疾患や伝染性膿痂疹等の細菌性疾患の治療を習得する。
- 2) 膠原病、水疱症などの自己免疫疾患の診療の経験を積む。
 1. 発疹の見方、臨床検査、病理検査について学ぶ。
 2. ステロイドを中心とした治療法を学ぶ。
- 3) 粉瘤、色素性母斑などの良性の皮膚腫瘍の外来手術を行う。
- 4) 基底細胞癌、ボーエン病等の悪性皮膚腫瘍に関し、大きさや部位的に可能であれば手術療法により切除術を行う。
 1. 悪性黒色腫を始めとした悪性皮膚疾患に関して、(術後)化学療法を行う。
- 5) 皮膚病理組織標本の見方に慣れる。
- 6) パッチテストの手技に慣れる。